

2025年9月定例自然観察会 実施報告書

2025年9月28日

実施日 2025年9月21日(日) 天候 晴れ
テーマ 六甲山神秘の磐座(いわくら)を訪ね、秋の気配を楽しむ
コース 六甲山アスレチックパークグリーンア～心経岩～森の音ミュージアム～記念碑台
～神戸ゴルフクラブ～六甲ケーブル山上駅に至る散策路
集合 9時30分 アスレチックパークグリーンアバス停
解散 14時30分過ぎ 六甲ケーブル山上駅
参加者 ビジター33名 会員27名(うち3班25名)計60名

【観察会概要】

夜半からの雨が線状降水帯となり、ただでさえ悪路の散策路がより悪化し通行止めにもなるのではないかと、そんな心配がうのように観察会開始の頃にはすっかり晴れて気持ちの良い朝となった。前回・前々回ともに天気・暑さに泣かされ、お休みの8月を入れると4ヶ月ぶりの定例自然観察会(以下定観という)開催となった。



3年前の定観で今回のほぼ逆コースをご案内していたこともあり、ベテラン勢には多少の余裕も感じられたが、昨年・本年の新人にとってはやはり緊張のスタートとなった。今回3班としては初のチーム制によるご案内でA～Eの5チーム体制で臨んだ。それぞれの持ち味を活かし、早速スタートするチーム、きちんと挨拶から入るチーム、体操するチーム等々、五者五様のスタートであった。



午前中の植生は樹木ではウラジロマタタビ、リウツギ、ウツギ、イワガラミ、イヌシデ、アカシデ、ウメモドキ、ミヤマハイツ、トチノキ、ガマズミ、コバノガマズミ、ミヤマガマズミ、オトコヨウゾメ、ナツツバキ、フサフジウツギ、マツブサ、ホツツジ、ブナ、イヌブナ、オオカメノキ、ミ



ズナラ、アオハダ等々、草花ではツルニンジン、アカショウマ、ゲンシヨウコ、キクバヒヨドリ、ヤマホロシ、アキチヨウジ、キクバヤマボクチ、ツリフネソウ等々が見られた。心経岩では「お彼岸」についての解説があり、「おはぎ」と「ぼた餅」の違いも教わった。六甲山神秘の磐座だけあって皆さん神秘的な面持ちで聞き入っておられたように感じた。同時に心経岩下広場にて「旅する蝶」アサギマダラの雌雄の見分け方や2000km超飛べる理由の解説があった。



午前ルートの最低標高地点付近からドローンを飛ばしアサギマダラの飛翔を空撮する予定であったが、残念ながら一頭も見つからず撮影できなかった。やむを得ず、デモ飛行のみ実施した。



午後 1 時過ぎ、到着した記念碑台で遅い昼食休憩となった。休憩の後、「記念碑台ツアー」としてグループ胸像の周りに集まり、各チーム単位で六甲山開祖の話があった。

午後からは草花中心のご案内となった。カナムグラ、ホドイモ、オオカモメヅル、ノササゲ、ツルリンドウ、マツムシソウ、タムラソウ、ミズタマソウ、ヤブマメ、アカネ、キツリフネ等々が見られた。タムラソウの開花は前週の自主研で



は見られなかったため、案内人一同驚いた。

午後は下り坂がほとんどであったことから六甲ケーブル山上駅まで足早に歩を進め、目標の 14 時 30 分過ぎに各チーム到着した。到着後、感想等をヒアリングし解散とした。

一日事故もなく心配された暑さもなんとか凌げ、ビジターの皆様にとって楽しい一日をご提供できたのであれば案内人としてはこの上ない喜びである。

なお、今回定観の場で昨年の新人 2 名を含む新人 6 名が案内人としてデビューした。貴重な経験をさせていただいたことに厚く御礼申し上げます。



【ビジターのご感想】

- ゆっくり回っていたので、質問しやすくたくさん教えてもらえた。
- 知らない道を教えてもらえた。また、歩きに來ます。
- 秋の花がたくさん見られてよかった。
- タムラソウの名前と特徴を教えてもらえて、良かった。
- すごく細かく教えてもらえた。
- 楽しく寄せてもらった。
- 後半は前半に教えてもらった植物のヒントを覚えてもらいながら歩けたのが良かった。
- 1 人で歩いていたら通り過ぎてしまうような所をたくさん教えてもらえてよかった。
- ミズタマソウの実験が良かった。

以上、雑ぱくですが定観報告といたします。

六甲山自然案内人の会 3 班 樋口和彦

